



## 家庭での備蓄品チェックリスト



大地震が発生した場合には、ライフラインの被害により長期間の断水や停電などが発生します。

このため、地震発生から3日間は「自らの命は自ら、家族の命は家族で守る」という、日頃から地震に備えて、各家庭で非常用品を備蓄しておきましょう。

### ＜重要なポイント＞

- ◆各家庭で3日以上の水(1日1人約3ℓ以上)・食料を備えましょう。
- ◆家族構成(乳幼児、高齢者、食物アレルギー等)を考慮した食料も用意しましょう。
- ◆災害時には、家庭のトイレを活用して使える簡易トイレが有効です。各家庭に簡易トイレを備蓄しましょう。

#### 【非常用品の例】

- ・食料(カップめん、缶詰、ビスケットなど)      ・飲料水(ペットボトル)
- ・懐中電灯(1人1個)      ・携帯ラジオ      ・予備電池      ・救急用品
- ・ビニールシート      ・簡易(携帯)トイレ      ・カセットコンロ      など

### 【わが家での買い置き品】 ～3日以上以上の食料・水～

NO	買い置き品	数量	購入年月日	備考
例)	飲料水(ペットボトル2ℓ)	18本	H30.4.10	2年後入替(保存年限)
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				

### 【災害情報の入手】

- ◇安心安全情報メール「かすかべ」  
防災行線無線で流す安全安心情報のほかに、市内の災害情報などの緊急情報を配信します、登録をお願いします。  
登録は右のQRコードから簡単に登録できます。



- ◇テレビの「d」(ディー) ボタンの操作  
気象情報や防災情報などは、テレビの「d」や「データ」ボタンを操作することで見ることができます。